

この無限の宇宙の中で

あなたに会えて

よかった!



今のいい言葉!

ひとつひとつの出会いが宝物です。世界に70億人いる中で出会えることは奇跡だと思います。出会い(縁)を大切にしましょう!

おかげ新聞は、大和屋ホームの家づくりへの想いや様々な出来事など、毎月皆様にお伝えするニュースレターです。

夢の『カタチ』をお手伝い
健康を考へるならやっぱり木の家!木のめくもり・こだわりの感じてください。
自然素材が大好きな 有限会社 大和屋ホーム 自然素材の『木のくみの家』
すべてはお客様のために

おかげ新聞

No.158
令和2年
3月号

未来が変わる。日本が変わる。



大和屋ホームは、「自然を大切に・地球を大切に」の想いから、チャレンジ25に参加しております。

皆様、こんにちは佐藤です。そろそろ、春一番がやってくる時期です。そう考えると、本格的な春到来が待ち遠しいですね。寒いのが苦手な方は春が待ち遠しいですが、花粉症の方には少々つらい季節の到来になりますね。そして新型コロナウイルスが猛威を振るっています。全国で様々な対応と対策を行っておりますが、一人一人ができる対策を行い、その積み重ねが大事になりますので、是非取り組んでいきましょう。

さて3月というと年度替わりのシーズンですので、学校では卒業、会社では送別会など、出会いや別れが多い時期です。そんな中、新型コロナウイルスの影響で、突然全国一斉学校休

校の措置がとられました。卒業式等の学校行事が中止されたり、縮小されたり様々な影響が出ているようです。卒業式の準備をしていた卒業生には、いつもとは違う意味で寂しい悲しい令和2年3月になることでしょうね。

私達は、家を建ててくれたお施主様とは、ほぼ永遠のお付き合いですので、お別れということはほとんどないのですが、家をつくる仲間たちとは、お別れすることがあります。職人さんでいえば、親方から独立する人、業者さんは転勤、そして新たな道を進む人たちです。家を建てるのには、何十人という沢山の人が思いをこめて関わり、一つの家が完成するの

で、共に家づくりを行ってきた仲間にはそれぞれに思い出があります。大玉さんなら、造作の時に無理を言ったとか、業者さんなら、特注のキッチンをいれてもらったとか様々です。家づくりの仕事は、一つとして同じもをつくらないので、全ての現場で思い入れが大きくなり、それに携わった人たちへの思い入れも大きくなります。そんな仲間たちとお別れは本当に寂しいですが、新たな道を進むので私達と共に経験したことを活かして本当に頑張ってほしいと思います。私たちも、これまでの経験をもとに進化し新たな家づくりを行います。それでは!

佐藤美智雄